

令和三（二〇二二）年度

第二十九回 「ジュニア知事さん」 入選作品集

四年生

あつたらいいな、リサイクルオリンピック  
 かんきょう実けん街作り  
 家族幸せ、ごはんクラブ  
 魚の住みやすい河川  
 栃木県にとまって栃木県の朝を楽しもう

栃木市立大平西小学校	小松原 行人	1
那須塩原市立南小学校	篠田 佐知	2
作新学院小学部	鈴木 悠太	3
栃木市立皆川城東小学校	栃木 心太郎	4
下野市立古山小学校	増 湊	5

五年生

みんなが人の成功や楽しみを共に喜べる栃木県に  
 フードロスゼロで笑顔に  
 自転車の都、栃木県  
 自動運転の車を広めたい  
 北関東三県同盟計画

小山市立小山第一小学校	市 村 倅	6
小山市立小山城東小学校	小 池 輝 珀	7
大田原市立西原小学校	佐 藤 亜 胡	8
下野市立石橋小学校	島 野 愛 菜	9
壬生町立壬生小学校	鈴 木 宜 勝	10

六年生

いざという時のために、今できること  
 SDGs かるたで地球環境に優しい栃木県にしたい  
 「栃木止まりピックアップ計画」開始  
 おさがりでみんな仲良く  
 地産地消で暮らしやすい栃木県

さくら市立氏家小学校	青 木 茉 依	11
下野市立祇園小学校	齊 藤 愛	12
小山市立小山第一小学校	鈴 木 夏 陽	13
栃木市立栃木中央小学校	寺 内 寛 哉	14
大田原市立紫塚小学校	増 居 音 愛	15

## とちぎの未来をつくる皆さんへ

小学校四・五・六年生の皆さんから、「もし私が知事になったら、こんなことをしてみた」というテーマで作文を募集したところ、一、六三〇名の皆さんから応募をいただきました。本当にありがとうございます。

とちぎの持つ素晴らしい魅力をつづった作品もあれば、現実の課題と向き合っている作品もあり、内容はさまざまですが、どの作品にも共通しているのは、「ふるさと“とちぎ”をより良くしたい」というまっすぐな想いです。皆さん一人ひとりが、栃木県の将来について真剣に考えてくださっていることを、心からうれしく、また頼もしく思っています。未来の栃木県をつくる皆さんにお願いです。これからも、ふるさとを大切に思う気持ちをお忘れず、栃木県への愛着を深めていってください。そして、ともに力を合わせ、未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てる栃木県を築いていきましょう。

令和三年十二月十三日

栃木県知事

福田 富一

## あったらいいな、リサイクルオリンピック

栃木市立大平西小学校 四年

こまつばら  
小松原 行人  
いくと

ぼくが栃木県知事になったら、リサイクルの方法を競うオリンピックをつくりたいと思う。ぼくは朝の通学でゴミステーションの前を通る。ぼくの背くらいにつきあがったゴミぶくろの中にペットボトルがまざっているのを見た。栃木県の動画から、ペットボトルはちゃんと分別すると、工場でペットボトルから糸にかわり、洋服を作ることができることがわかった。ぼくはどうしたらリサイクルにきょうりよくしてくれる人が増えるか考えた。

ぼくの曾祖母の家がある足利は、織物をつくってお年寄りから若い人までリサイクルに興味を持ってもらえると思った。足利銘仙は奈良時代からの歴史があり「解し緋」と言う折り方が有名だ。でも今は着物を着ることが少なくて洋服を着ることが多い。だからぼくは栃木県の伝統とリサイクルをつないで栃木県民全員がリサイクルに協力してもらえようように働いて全国で一番地球にやさしい県にしたいと考える。

## かんきょう実けん街作り

那須塩原市立南小学校 四年

篠田 しのだ  
佐知 さち

わたしがもし、栃木県の知事になったら、かんきょう実けん街作りをわたしの住むなす地区で行います。

わたしの住むなす地区は、温せんがほうふで、緑ゆたかな山林があります。広大な農地においしいお米や野菜、牛にゆうがとれるすてきな所です。しかし、一つ一つの家がはなれているので、車がないと生活できません。だから、お年よりになっても、めんきよを返のうすることができません。

そこで、街を小さくして歩いて生活が成り立つ街を作ろうと思います。街の電気は、温せんの熱を利用します。街が小さいので、近くでとれた野菜やにゆうせい品がすぐにとどきます。学校や公園、しせつなども全部歩いていけるので、人と人のふれ合う機会がふえ、しぜんと会話が生まれます。

なす地区の実けんを通して、ほかの地区でもよさを生かして、栃木県全体にかんきょうにやさしい街をふやしていきたいと思います。

## 家族幸せ、ごはんクラブ

作新学院小学部 四年

鈴木 悠太  
すずき ゆうた

ぼくが知事になったら、「ごはんクラブ」という、放か後児童クラブを作りたいです。

最近ぼくは、ごはん作りのお手伝いを始めました。自分で作った料理を食べてもらって、家族に「おいしい」って言われることがとてもうれしいです。

そこで、放か後児童クラブで、「お料理の教室ができたらいいな。」と、考えました。お家の人がむかえに来るまでの間、先生にかんたんにできるお料理を教えてくださいたいのです。

料理ができるようになったら、家の手伝いをもっとできるようになるし、休日にお家の人に料理を作ってあげられます。子どもも大人も、みんなで協力して生活することができるようになると考えたからです。

おむかえを待つ放か後の時間を、生活に役立つことが学べる楽しい時間にかえたいと思います。そして、みんなで協力しあって仲よくくらすことができる、「幸せ家族いっぱい  
の栃木県」をつくりたいと思います。

## 魚の住みやすい河川

栃木市立皆川城東小学校 四年

とちぎ  
栃木 心太郎  
しんたろう

ぼくは、栃木県の高級魚、ヤシオマスが大好きです。給食で高級魚が食べれる、栃木県は最高です。

ぼくが知事になったら、魚の住みやすい河川をつくり、ニジマスや、アユ、などの川魚で品種改良をして、栃木県の高級魚を作りたいです。

そのためにぼくは、栃木県の河川一つ一つに、そこに住む魚の種類を調べ、生息する、魚の産卵するための場所、成長するための場

所、洪水に流されても、元の場所へ帰ってこれる河川づくりをしたいと思います。そのために、栃木県魚マップをつくり、QRコードで、その川は、今、産卵の時期なのか、成長の時期なのか、たくさんの人に分かってもらい、魚の成長を見守れて、沢山の川魚が、成長できるようにします。

そして、栃木県の川魚で、ヤシオマスと同じぐらいの川魚を育てて、食べたいです。

## 栃木県にとまって栃木県の朝を楽しもう

下野市立古山小学校 四年

増渕 ますぶち

湊 みなと

栃木県は観光地がたくさんあり、東京から近く、国内外から多くの観光客が来ます。

にしか体けんできないことを、ホームページやSNS、YouTubeなどで発信します。

しかし、東京から近いので、日帰りですてしまう人が多いと聞いています。栃木県は、温せん旅館も有名なのにもったいないと思し、宿はくしてくる人がふえたら、栃木県はもつともり上がると思います。

さらに、旅館やカフェで、早朝にしか味わえない、特別な朝ごはんを作ってもらったりすることなどを考えています。

そこでぼくは「栃木の朝活キャンペーン」をてい案します。このキャンペーンでは、県内で早朝にしか見られない美しいけ色や早朝

そうすれば、「朝活」をする前の日に栃木県にとまってもらうことができると思うし、一度とまってくれたら、きつと、もう一度栃木県にとまりたいと思ってくれる人がふえると思います。



## みんなが人の成功や楽しさを共に喜べる栃木県に

小山市立小山第一小学校 五年

いちむら  
市村 倅

オリンピックを見て選手たちががんばりに胸を打たれましたが、そこに水を差す出来事がありました。選手たちのSNSにひぼう中

の利用の仕方やマナーについての問題が出ます。合格するとマナーが優れた人という認定証がもらえます。

傷が届いているというのです。私はそれを聞いてとてもがっかりしました。オリンピックに限らず今、SNSのひぼう中傷で多くの人

をスマホを使う県民全員が入れます。このアプリは、悪口などの言葉に反応し、「このコメントを送って、相手も自分も傷つきませんか。」という画面が出ます。送信前にもう一度考えさせてくれるアプリです。この取り組みで栃木県からひぼう中傷をなくしたいです。

私は、この現状をなんとかしたいと思いました。そこで「栃木SNSマナー向上検定」を設けようと思います。この検定は、SNS

を設けようと思います。この検定は、SNS

## フードロスゼロで笑顔に

小山市立小山城東小学校 五年

こいけ  
小池 輝珀 きは

僕が知事になったら、食品を無駄にしない  
県「フードループ栃木」を実現させたいです。

栃木では、お米や野菜、お肉等、たくさん  
のおいしい食品が作られています。しかし、  
折角、一生懸命作った食品が、大量に廃棄さ  
れている悲しい現状を知りました。その一方  
で貧困が問題になっていて、ご飯を十分に食  
べられない子供たちがいるのは、とてもおか  
しいと思いました。

そこで、形が不揃いであるとか、賞味期限

が近いとか、まだまだ食べられる食品は、子  
ども食堂等、食べ物を本当に必要としている  
所に提供します。どうしても廃棄しなければ  
ならない食品は、きちんと分別して加工する  
ことで、価値のある家畜の餌や畑の肥料に生  
まれ変わらせます。無駄なく食品を利用、循  
環させる、これが「フードループ栃木」です。  
これが実現できれば、すべての子どもが笑  
顔で、ますますおいしい食品を全国に提供で  
きる、魅力いっぱい栃木県になります。

## 自転車の都、栃木県

大田原市立西原小学校 五年

さとう  
佐藤 亜胡

栃木県は、自転車のプロチームが二つもある、自転車競技がとてもさかんな県です。私は、あの細いタイヤですごいスピードで走るロードバイクがとても格好良いと思います。

でも、心配なこともあります。それは、公道わきの路肩がせまいことです。おばあちゃんの家は那須の方にあり、そこに向かうと中でロードバイクに乗る人を見かけることがあります。車とすれ違うときなど、あぶないと感じることもあります。

栃木県は自然が豊かで素晴らしい県です。

自転車で心も体もリフレッシュできたらと思います。だから、もし私が知事になったら、観光地にロードバイク用の広い路肩を作りたいです。那須や日光などに、世界中の人が一度は走ってみたいと願うような素晴らしい道を作り、多くの人に栃木県のみ力を感じてほしいです。また、ロードバイク用の安心安全な道を作ることで、車を運転する人のマナーアップも期待したいです。

## 自動運転の車を広めたい

下野市立石橋小学校 五年

しまの  
島野 愛菜

私が知事になったら、自動運転の車を広めたいです。理由は二つあります。

一つ目は最近よくお年寄りの自動車事故のニュースを聞くからです。でも、お年寄りは運転したくて運転しているとは限りません。

家からお店や病院が遠く、どうしても運転しなくてはならない事情がある方も多いのだと思います。その都度誰かにたのんだり予約するのも大変なのではないでしょうか。自動運転の車があれば、お年寄りも行きたい所に安

全に行けるようになると思います。

二つ目は、あおり運転や飲酒運転などの危険運転を無くしたいからです。何の罪もない人がけがをしたり、命を落とすのを見たくないからです。

自動運転の車が普及して、みんなが安心安全に行きたい所に行ける便利な栃木県にしたいです。そして、事故でけがをする人が少ない平和な県にしたいです。

## 北関東三県同盟計画

壬生町立壬生小学校 五年

鈴木 宣勝  
すずき よしかつ

ぼくが、栃木県知事になったら、「北関東三県同盟」を結びたいです。

北関東三県同盟とは、み力度ランキングでいつも順位が低い北関東三県で協力し合い、おたがいにみ力度をあげていこうという同盟です。

そのためにおたがいの交流がさかんになるように、北関東自動車道を活用するとよいと思います。例えば、料金をどこまで行っても千円にするなどです。そうすると、北関東三

県でおたがいの特産品を運びやすくなります。また、他の地方からの観光客が一つの県だけでなく、三県を見て回りやすくなります。

ぼくは栃木県はみ力のある県だと思います。なぜかというと、名所も多いし、食べ物もおいしいからです。多くの人に来てもらい、栃木を知ってほしいと思います。群馬や茨城も同じだと思います。

良い所をみんなが知れば、栃木の良さが分かります、み力度も上がると思います。

## いざという時のために、今できること

さくら市立氏家小学校 六年

あおき  
青木 まい  
茉依

毎年、日本各地でたくさんの災害が起きています。しかし、防災意識の調査結果では、実際に対策をしている人は全体の約半数です。残りの半数は、対策の必要性を感じているけれど、対策ができていないことを知りました。

そこで、私が知事になったら、災害に備えるために、閉校になった学校を活用して、防災体験教室を開きます。活動の一つ目として、地震、火災、台風時などの避難シミュレーションをします。また、栃木県防災館へ行って、

雨や風などの防災体験もします。災害の怖さを知ってもらうためです。二つ目は、大人と子どもに分かれ、それぞれの立場でできることを考えて共有し、活動します。三つ目は、災害時に役立つ物作りです。ダンボールいす、ゴミ袋カップなど色々な物を作ります。

私は、できるだけ多くの人に防災体験をしてもらいたいです。そして、いざという時に、少しでも落ち着いて行動できるような取り組みにしたいと思います。

## SDGs かるたで地球環境に優しい栃木県にしたい

下野市立祇園小学校 六年

さいとう  
齊藤 愛

私がSDGsを知ったのは「SDGsすごろくを作ろう」というイベントに参加したことがきっかけです。興味をもったので調べてみると、SDGsとは世界がかかげる持続可能な開発目標のことだとわかりました。でもまだそこまで広まっていらないように思います。そこでもし私が知事になったら「SDGsかるた」を作ります。かるたの内容は県内の小中学生から集し、私たちが積極的に参加できそうなもの、小さな子供からお年寄りま

では幅広い年代の人が楽しめるようなアイデアを選びます。できあがったかるたは一家庭に一個ずつ配布します。このかるたをみんなで遊んでもらうことによって、SDGsを身近なものとして感じてもらい、一人一人が自然に地球環境への意識を高めることができると思います。こうしてかるたを通じてSDGsに関心をもち、地球環境に優しい考えと行動をもつ、世界にほこれる栃木県にしていきたいです。

## 「栃木止まりリンピック計画」開始

小山市立小山第一小学校 六年

鈴木 すずき

夏陽 なつひ

以前栃木県は、歩行者が横断歩道を渡ろうとしているのに止まらないランキング一位でした。そこでぼくが知事になったら、「栃木止まりリンピック計画」を実行します。

まず信号のない横断歩道にセンサー付きライトを付けます。それが光ることによって歩行者の存在を運転手に知らせます。車のナビやスマホの地図アプリをセンサーと連携させ、歩行者がいると音で教えてくれるようにします。また、信号が黄色に変わったら「止まりました

よう」などとアナウンスしてくれます。ナビの連携により、一時停止の回数を競えるようにし、各市町村のランキングをつけると、みんなが止まってくれると思います。順位ごとにポイントがもらえ、車のこう入や修理の時に割引してもらえます。

栃木止まりリンピック計画で、栃木県が金メダル、すなわち一番歩行者にやさしい県になれるようにしたいです。



## おさがりでみんな仲良く

栃木市立栃木中央小学校 六年

てらうち  
寺内

かんや  
寛哉

ぼくが知事になったら、「学校の必じゅ品のおさがり制度」をつくります。

使わなくなった制服や体そう着、けんばんハーモニカやかばん、けん道の竹刀など、まだまだ使えるのもう使わないものをおじいちゃんやおばあちゃんの手できれいにしてもらって、次の世代の子たちにゆずっていく制度です。

なぜそう思ったのかというと、高いお金を払って買ってもらった物を、まだきれいで使

えるのに捨ててしまうのはもったいないと思ったからです。

この制度には、たくさんいいところがあります。例えば、物を大事に使うようになる、物が無だにならない、ごみが減る、高れい者の活やくの場が広がる、教材費が安くすむ、子どものいる家庭が助かる、子どものいる家族が住みたくなる、栃木に活気がでるなどです。子どもから高れい者までいきいきと暮らせる栃木にしたいです。

## 地産地消で暮らしやすい栃木県

大田原市立紫塚小学校 六年

増居 ますい  
音愛 おとあ

私が知事になったら、使われていない畑や田んぼを利用して自分達で地産地消に力を入れて取り組みたいです。

そのため、学校の教科に農業という科目をつくって、高齢で農作業ができなくなったお年寄りの家の畑や田んぼを借りて、米や野菜を作り、毎日食べる給食の材料にします。

また、栃木県の特産品なども育てて、スーパーなどに販売することで、全国の人に栃木県を知ってもらえるようになると思います。そ

して、その販売した食べ物のお金を、土地を貸してくださった方の生活費として使っても

raithたいです。そうすることで、私たちは、毎日、新鮮でおいしい給食をいただくことができます。また、お年寄りも豊かな生活を送ることができます。さらに、栃木県の魅力をアップさせることにもつながります。

このようにして、使っていない畑や田んぼを利用して地産地消に力を入れ、今まで以上に暮らしやすい栃木県にしたいです。

令和三年度「ジュニア知事さん」には、

県内の小学校四・五・六年生のみなさんから、

一、六三〇点(四年生 四三七点、五年生 五九二点、

六年生 六〇一点)の応募がありました。

なお、知事賞の選考にあたりましては、下記の

方々に選考委員として御協力いただきました。

## 選考委員

(敬称略)

栃木県おもちゃ図書館連絡会 会長

下野市おもちゃの図書館 館長

大家 薫

栃木県小学校教育研究会 国語部会長

宇都宮市立横川東小学校 校長

高島 俊幸

栃木子どもの本連絡会 会長

大音 由里

文星芸術大学 名誉教授

林 香君

栃木県子ども総合科学館 館長

香川 眞史

2022

夢を感動へ。感動を未来へ。



第77回 国民体育大会

いちごいちえ 会 とちぎ 国体

冬季大会／令和4(2022)年1月24日(月)～1月30日(日)

本大会／令和4(2022)年10月1日(土)～10月11日(火)

第22回 全国障害者スポーツ大会

いちごいちえ 会 とちぎ 大会

令和4(2022)年10月29日(土)～10月31日(月)